

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌ウイルス	2024年												2025年				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月~2日	3月~9日	3月~16日
カンピロバクター	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	18	14	10	9	6
病原性大腸菌	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	23	107	21	22 (26)	7
腸管出血性大腸菌	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	1	3	1	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	14	15	2	1	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	9	9	3	3 (4)	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	3	1	0 (1)	0
ロタウイルス	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8	0	2	5
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	2	0	1
ノロウイルス	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	11	10	13	7

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和7年第11週(3月10日~3月16日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1		3		1	1	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	2	レジオネラ症	2			1		1		
五類	20	アメーバ赤痢	2					1		1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2							2
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1		
		梅毒	5	1				3		1
		破傷風	1							1
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		百日咳	8		1	1		6		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 感染性胃腸炎

定点当たり15.78人の報告があり、多い状況が続いています。県内では、第10週に東部保健所及び福山市保健所管内で警報開始基準値(定点当たり20)以上となったため、3月13日、県内全域に「感染性胃腸炎警報」が発令されました。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

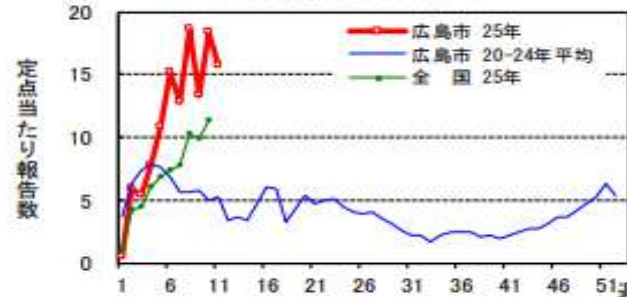
2 RSウイルス感染症

定点当たり1.39人の報告があり、増加傾向です。また、例年同時期より多い状況が続いており、注意が必要です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.97人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策を徹底しましょう。

感染性胃腸炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	34	0.94	6.43	→	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.05	→
	新型コロナウイルス(COVID-19)	71	1.97	→	→		流行性耳下腺炎	-	-	0.04	→
小児科	RSウイルス感染症	32	1.39	0.16	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	→
	咽頭結膜熱	10	0.43	0.37	→		流行性角結膜炎	7	0.88	0.13	→
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	1.91	1.18	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	→
	感染性胃腸炎	363	15.78	5.25	↘		無菌性髄膜炎	-	-	-	→
	水痘	2	0.09	0.10	→		マイコプラズマ肺炎	1	0.17	0.06	→
	手足口病	3	0.13	0.17	→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	→
	伝染性紅斑	8	0.35	0.08	→		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.33	0.09	→
	突発性発しん	2	0.09	0.31	→						

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↕ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ⇒ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	24	80歳代
4	レジオネラ症	1	3	80歳代
5	アメーバ赤痢	1	1	60歳代
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	80歳代
5	梅毒	3	29	20歳代・1人、50歳代・2人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	70歳代
5	百日咳	6	34	10歳未満・2人、10歳代・2人、40歳代・2人